

2017年3月期 業績予想および配当予想の修正に 関する説明資料

2016年10月24日

株式会社 IHI



1. 2017年3月期の連結業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

		7月公表	今回公表
前提為替レート (2016年10月～2017年3月)	米ドル	105円	100円
	ユーロ	115円	110円

(億 円)

	(参考)2016年7月29日公表見通し					2017年3月期業績予想(今回公表)				
	受注高	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	受注高	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益
第2四半期 連結累計期間 (増減率)	-	7,000	230	160	90	-	6,900 △1.4%	120 △47.8%	50 △68.8%	△50 △155.6%
通 期 (増減率)	14,500	15,200	580	440	220	14,000 △3.4%	15,000 △1.3%	380 △34.5%	180 △59.1%	0 △100.0%

2. 2017年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想 (平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(億 円)

	第2四半期連結累計期間		
	7月公表	今回公表	増減
売上高	7,000	6,900	△ 100
営業利益	230	120	△ 110
経常利益	160	50	△ 110
親会社株主に帰属 する四半期純利益	90	△ 50	△ 140

増減の主な理由
【売上高】 ①資源・エネ・環境 △100 (環境対応システム期ズレ, 陸船用原動機減, 為替他)
【営業利益】 ①売上増減 △30 ②採算変動 △120 (社会基盤・海洋/資源・エネ・環境の悪化, 航空・宇宙・防衛の改善) ③為替変動 △20 ④販管費 +60(研究開発費等の発生期ズレ)

3. 2017年3月期通期の連結業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(億 円)

	通期			増減の主な理由
	7月公表	今回公表	増減	
受注高	14,500	14,000	△ 500	【受注高】 ①プロセスプラント期ずれによる減少 ②為替影響
売上高	15,200	15,000	△ 200	【売上高】 ①資源・エネ・環境 △100(陸船用原動機減, 為替他) ②航空・宇宙・防衛 △100(為替)
営業利益	580	380	△ 200	【営業利益】 ①採算変動 △160(社会基盤・海洋/資源・エネ・環境の悪化他) ②為替変動 △40
経常利益	440	180	△ 260	【経常利益】 ①営業利益 △200 ②為替影響 △25(前提為替レート変更(@105円→@100円))
親会社株主に帰属する当期純利益	220	0	△ 220	

4. セグメント別 受注高・売上高・営業利益(通期)

	7月公表			今回公表			増減		
	受注高	売上高	営業利益	受注高	売上高	営業利益	受注高	売上高	営業利益
資源・エネ・環境	4,700	4,800	140	4,300	4,700	90	△ 400	△ 100	△ 50
社会基盤・海洋	1,200	1,600	△ 10	1,200	1,600	△ 150	0	0	△ 140
産シ・汎用機械	4,300	4,100	120	4,300	4,100	120	0	0	0
航空・宇宙・防衛	4,200	4,600	360	4,100	4,500	360	△ 100	△ 100	0
報告セグメント計	14,400	15,100	610	13,900	14,900	420	△ 500	△ 200	△ 190
その他	700	700	30	700	700	20	0	0	△ 10
調整	△ 600	△ 600	△ 60	△ 600	△ 600	△ 60	0	0	0
合計	14,500	15,200	580	14,000	15,000	380	△ 500	△ 200	△ 200

	営業利益増減要因				
	売上増減	採算変動	為替変動	販管費	計
資源・エネ・環境	△ 20	△ 30	△ 10	10	△ 50
社会基盤・海洋	0	△ 140	0	0	△ 140
産シ・汎用機械	0	0	△ 10	10	0
航空・宇宙・防衛	0	20	△ 20	0	0
報告セグメント計	△ 20	△ 150	△ 40	20	△ 190
その他	0	△ 10	0	0	△ 10
調整	0	0	0	0	0
合計	△ 20	△ 160	△ 40	20	△ 200

前回公表からの主要差異

【資源・エネ・環境】

・採算変動 △30:ボイラ等の採算悪化

【社会基盤・海洋】

・採算変動 △140:海洋事業の採算悪化
橋梁事業等の採算好転

【航空・宇宙・防衛】

・採算改善 +20:民間エンジン好転

5. 配当予想の修正

	前回の予想	今回の予想	(参考) 前期実績
1株当たり 中間配当	3円	0円	3円
1株当たり 期末配当	3円	0円	0円
1株当たり 年間配当	6円	0円	3円

※「前回の予想」は2016年7月29日公表の予想値

①シンガポール向けドリルシップ船体建造工事

- 船体の組立を完了後、本年4月に愛知工場ドックから岸壁に移動し、工程の終盤となる船内での電装・艤装工事を進行中。
- 本年7月以降、船内電装工事が進捗し、順次受けたお客さまの検査において電装設計不適合に関する厳しいコメントが増加→設計内容を確認。
 - ・ケーブル再敷設、ケーブルトレイの追加・再設置が必要となり大きな遅れへ
 - ・電装工事の遅れにより、後続工程(塗装・試運転等)も遅延し、キャッチアップリソース投入も必要に
- 引渡し予定は2016年12月→2017年3月に変更、大きな追加コストを計上。
- お客さまと共同で課題を検証し、これ以上のコストと工程に影響を与える事象がないことを確認済。

②ノルウェー向け洋上浮体式石油貯蔵積出設備(FPSO)船体建造工事

■愛知工場を含む国内外で製造した船体ブロックをシンガポールの下請造船所に輸送し、本年8月に船体の一体化を完了。

現在、同造船所の岸壁に接岸された状態で、艤装工事、電装工事を進行中。

●9月に詳細設計(ヤードプラン)の図面改訂作業がようやく完了。最終確認段階にて、配管間の干渉回避のための設計の見直しも実施。

- ・艤装、電装工事において大幅な物量増加
- ・敷設済部分にも後戻り作業の必要性が明らかに

●今後の作業量について下請造船所と擦り合せを実施し、引き渡し予定は2017年5月→2017年7月、見積コストも大幅増。

●下請造船所における工事進捗の管理強化のため、設計・施工・品質管理の派遣エンジニア増員と滞在期間延長のコストを計上。

③国内向けLNG船用SPBタンク建造工事

- 建造する計16タンク(4タンク×4隻)のうち、第1船最初の2タンクの船体搭載(*)が本年8月、10月に完了。本年12月に予定している第1船の引き渡しに向け、残る2タンクを順次搭載予定。
- 船体搭載工程に熟練技能者を集中して投入したが、作業難度が想定を超え、後戻り作業が頻発して計画した作業効率の実現出来ず、またタンク連続建造による習熟効果も得られていないことが判明。工程遅れが顕著となり、キャッチアップ対策必要に。
- 遅れ対策として最終ブロック組立用の作業エリアを増設し、また習熟効果を見込まずに実績ベースで後続タンクの作業量を見直し。
- 引き渡し予定は各船とも1~2ヶ月ずつ遅れ、最終4番船は2017年12月見込みとなり、見積コストは大幅増。
- 今後、溶接技能者の配員計画適正化等の対策により改善に取り組む。

(*)上部、下部2つの巨大ブロックをそれぞれ組み立てた後、船内に搭載して一体化する工程。難度の高い精度管理と溶接品質を必要とするタンク製作の後半工程。

7. F-LNG・海洋構造物事業について

案件名称	概要		
	引き渡し予定	工事進捗率 (コスト計上ベース※)	工事進捗率 (工程ベース)
シンガポール向けドリルシップ船体建造工事	2017年3月	86%	92%
ノルウェー向け洋上浮体式石油生産貯蔵積出設備(FPSO)船体建造工事	2017年7月	66%	64%(外注含む)
国内向けLNG船用SPBタンク建造工事 (4タンク×4隻)	2016年12月(1隻目) 2017年12月(4隻目)	89%(1隻目), 61%(2隻目), 31%(3隻目), 0%(4隻目)	86%(1隻目), 55%(2隻目), 6%(3隻目), 0%(4隻目)

(※)2016年9月末時点での工事進行基準経理における工事進捗率を示す

「F-LNG・海洋構造物事業の今後について」

- 上記3プロジェクトについては、当社グループの総力を挙げて工事を完遂する。
- F-LNG・海洋構造物の新規受注は停止中。一方、アルミSPBタンクを軸とした事業構造への変革を検討してきたが、オフショア市場の見通しを踏まえ、抜本的な対策の必要性についても合わせて検討し、今年度末を目途に結論を出す。

IHI

Realize your dreams

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際に業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。